

## 4 各教科等の指導のポイント

### 各教科等における「見方・考え方」とは

国語	「言葉による見方・考え方」を働かせるとは 児童生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること										
社会	「社会的な見方・考え方」とは 空間、時間、相互関係など多様な視点に着目して社会的事象等を捉え、その意味や意義、特色や相互の関連を考慮したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりすること										
算数 数学	「数学的な見方・考え方」とは ※ <u>        </u> は算数、( )は数学 事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、 <u>根拠を基に筋道を立てて考え</u> (論理的)、統合的・発展的に考えること										
理科	「理科の見方・考え方」とは 「見方」各領域において、自然の事物・現象を、主として次のような視点で捉えること <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>エネルギー</th> <th>粒子</th> <th>生命</th> <th>地球</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見方</td> <td>量的・関係的な視点</td> <td>質的・実体的な視点</td> <td>共通性・多様性の視点</td> <td>時間的・空間的な視点</td> </tr> </tbody> </table> 「考え方」・小学校…問題解決の過程において、「比較する」「関係付ける」「条件を制御する」「多面的に考える」こと ・中学校…探究の過程において、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること	領域	エネルギー	粒子	生命	地球	見方	量的・関係的な視点	質的・実体的な視点	共通性・多様性の視点	時間的・空間的な視点
領域	エネルギー	粒子	生命	地球							
見方	量的・関係的な視点	質的・実体的な視点	共通性・多様性の視点	時間的・空間的な視点							
生活	「身近な生活に関わる見方・考え方」とは 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする										
音楽	「音楽的な見方・考え方」とは ※( )は中学校 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や(社会、伝統や)文化などと関連付けること										
図画 工作 美術	「造形的な見方・考え方」とは ※ <u>        </u> は図画工作、( )は美術 感性や、想像力を働かせ、対象や事象を、 <u>形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら</u> (自分としての)意味や価値をつくりだすこと										
体育 保健 体育	「体育の見方・考え方」とは 運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること 「保健の見方・考え方」とは 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること										
家庭 技術・ 家庭	「技術の見方・考え方」とは(技術分野) 生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに注目して技術を最適化すること 「生活の営みに係る見方・考え方」とは(家庭科、家庭分野) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること										
外国語 活動 外国語 (英語)	「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わり方に注目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること										
道徳科	「道徳科における見方・考え方」とは ※ <u>        </u> は小学校、( )は中学校 様々な事象を道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで(広い視野から)多面的・多角的に捉え、 <u>自己の</u> (人間としての)生き方について考えること										
特別活動	「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせるとは 各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること										
総合的な 学習の 時間	「探究的な見方・考え方」とは 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること										